

Single cell解析、フローサイトメトリー解析に役立つ サンプル調製の重要性 実験の鍵となる細胞調製の方法

サンプル調製は、多くの細胞生物学的な解析を行うにあたり、最初に行われる実験です。組織からのサンプル調製がうまくいかなければ、細胞分離や、細胞解析、培養・遺伝子発現解析といった下流の実験系に支障が生じます。最適な実験結果を得るためには、サンプル調製において、高い生存率で、不要物の混入を最低限に抑えた単細胞懸濁液を調製する必要があります。

本セミナーでは、サンプル調製の重要性をアプリケーション例を挙げながらご説明し、デブリの除去や溶血、死細胞の除去などの、サンプルのクリアリングにつきましてもご紹介いたします。

また当日は自動組織分散破碎装置gentleMACSのデモ機もお持ちいたしますので、組織由来からのサンプル調製をご検討されている方は、是非実機をご覧いただければと存じます。

日時 : 2022年 10月 11日 (火)

【セミナー】 13:30~14:30 【デモ機】 14:45~17:00

開催方法 : オンライン Teams / オンサイト 医学部 RI棟 2階 R209室

講師 : ミルテニーバイオテク株式会社 フィールドサポート部 **安達慎也**

本セミナーは、総合分析実験センターのFD・SDセミナーとしても扱われます。



キーワード

サンプル調整
組織分散
組織由来細胞
腫瘍研究
神経研究
Single cell 解析
フローサイト
メトリー解析
死細胞

